（1）　日刊（除月曜）　昭和21年6月1日（第3種郵便物認可）　昭和24年2月23日 運輸省特別扱承認第238號　いわき民報　夕刊　昭和25年8月3日（木曜日）　第1291號

いわき民報

發行所
平市田町48 電381 176 1222
いわき民報社
編集兼印刷發行人 田原登

競輪設置許可さる

延々になっていた平市競輪場の許可は一日平市役所に許可になった旨電報が入った、市では早速用地の買收や諸設備に着手した

四日短縮さる

失保金の受給資格

一日から

八月一日から失業保險法の一部改正によって從來は二ヵ月で三十二日間の就勞實績がなければ日雇は失業保險金の受給資格が得られなかつたが、今後は四日間短縮され二ヵ月で二十八日となれば受給資格が得られる事になつた、これは最低二十八日の就勞で十三日分の保險金が得られ四日增毎に一日分增加、最高四十四日で十七日分で抑えられる、尙今度の改正で平職安所管內では勿來、赤井の就勞事情が一人平均十二日半となっているが、他は月十四日以上になっているから日雇者も從來の二三日のところで受給出來なかった保險金もやっと獲得出來る樣になり喜んでいる、目下毎日同所で保險金を請求している人達が日雇四百人一般五百人と求職者らも混え一日千人以上の失業者がつめかけ賑わっている

二町一ヵ村 議會連絡會

結成さる

內郷、湯本、磐崎議會連絡協議會は一日午前十時から磐崎礦靜風莊で開催規約を審議した結果、連絡協議會は二町一村で組織し事務所を湯本町役場內に置き、相互町村の連絡を緊密にし地方自治の円滿な發達のために寄與することに決定した

平醫師會が新發足

脫退者二十名に正式許可

石城醫師會は既報の如く過般の臨時總會で二十名脫退し、文字通り二分するに至ったが脫退者二十名で豫定通り平醫師會を組織し、縣當局の許可があったので正式にスタートした、脫退した新平醫師會員は次の如く、新醫師會側は政治的意圖を含めて殘留會員の切崩しに奔走、既に四名の脫落者を出して居り、なお多少新醫師會に走るものがある模樣である

◇新平醫師會員

齋藤正雄、高柳博明、叶田淸、諸橋鐵彌、若松信吾、小野彌久、金成桂一、石城詮、中田三郎、後藤全久、淸水嚴政、鈴木正男、矢吹大一郎、安齊徹、新妻孝之助、高久忠、高久孝、賀川彌太郎、賀川泉二、木村淳

◇爾後加入者

和田浩美、安田庄三郎、眞木光邦、村上マサ

民報論壇

國民健保組合解散せよ

野澤武藏

保險料の半額切捨て問題から端を發し、醫療點數の不當審查へと發展した醫師會の內紛が、春の總會に於ける役員選擧を契期として途に爆發し、規定の行政區域をもっている石城醫師會が分裂して、對抗的な平醫師會が新發足した。勿論兩者の對立的意見もあろうが內部に鈴木市政の息吹きを感ぜられるのは遺憾である

保險料の切り捨てや不當なる點數審查については、本欄に於て數回論じているが、保險組合が缺損を生じたから、三十幾万円かの保險料を負けろという、平市に無理があった。展覽會にさえ何十万円かの寄附を惜しまない平市のことであるから、人の命を扱った保險料を打切るなど無謀であったが、これも市當局が我を通している。點數審查に當っても審查員を一方的に選任し、醫師會の役員さえ加えていないのだから、市長私設の審查會のようなものである。又役員選擧に破れたからと、正式機關に計らず、こそ〳〵と署名運動して四十何名かの賛成？を得て、開醫師會を作るなどの工作もいけなかった。最初から今回とった處置のように、堂々と脫會するか、乃至は正式機關にかけるべきであったろう。

政治的色彩をもった醫師會が生れ、來春行われる市長選擧に當って、鈴木市長の再選運動を行うであろうことを想像すると、勢い、あの醫者は何派だというように患者も又色ずけられ、二分するおそれ無しとしない。若し實際にこのように患者も二分することになったら重大問題である。鈴木市長の息がかかって花柳界も二分して了ったし、煙ったい本田署長も追い出したし、市長は目下のところ吾が家の春というところ然し善良なる醫師を保險料の點數審查とか、保險醫取消しなどで脅やかし、新醫師會への加盟を迫るなど、不純な事態が生ずるようなことがあれば道義も正義も無くなる。

國民健康保險組合は市民相互の保障制度であって、不景氣が深刻化するほど資產の無いものには極めて有利で、制度としては非常に良い。然し平市の樣に醫師の仲に政治的色彩が入っては頗る危險だ。しかも、勝手に脫退も出來ぬ強制保險であるべきものが、新たに編入された飯野、神谷兩村民の加入を除外したところにも、負擔輕減という政治的意圖が含まれているし、不純だらけである。本縣五市のうち、福島、郡山、若松の三市は組合の存立を認めず、既に保險組合を解散しているし、一般市民をして不安を感ぜしめている平市國民健保組合も、この際早急に解散すべきことを提唱する。組合さえ解散すれば、醫者同志の對立も、或る程度緩和されるのではないか、市會議員諸公の熟慮を希む。

皆様の休憩室
平会館
電624

四倉玉山線

バス運轉復活

常磐交通では一日から四倉―玉山線の定期運轉を復活した、現在までは必要に應じ臨次運轉していたものであるが今度から一日二往復運轉する、發時刻は次の通り、また從來までの植田―黑田間の田人線一粁半延長して一ノ倉まで運轉を實施する、ほかに綴―宮線も近く實現する豫定

◇四倉發八、三〇分　一五、四〇分◇玉山發九、三〇分　一六、四〇分

〃指〃を切り保險金詐欺

化の皮はがされ送檢

內郷町高坂字立野常磐炭礦採炭夫馬場良平（二六）は去る五月二十二日午後五時半ころ常磐炭礦住吉礦更生二斜坑で才箱作業中勞働災害保險金の詐取を企て、故意に作業用斧で左方指第一節から切斷、業務上の傷害を裝い勞災法による休業補償費九日分千四十一円を詐取した外、勞災保險金七万五百円並に七月上旬には協榮生命保險と五ヵ年間の定期勤勞保險額面六十三万八千円の契約をしていた所から額面の一割六万三千八百円の傷害保險金の請求書を提出していたことが判明二日內郷町署では身柄を送檢する

火藥取扱資格を取消し

川德事務所の爆發事件で

去る三十一日平市鍛冶町三一川德事務所內で起った工業用雷管の爆發事件について平市署では火藥係城水勝丸（二四）君が注意せねばならぬタバコを喫煙したことが原因であったことが判明したので、石城地方事務所經濟課では火藥取扱者の資格を有している者が注意されている、事務所內部で而も喫煙しておったという事實はゆるされるものでなく今後の問題を考え嚴重な態度でのぞむという方針から火藥取扱資格の取消を縣に申請した

隅田川炭鑛に赤痢發生

磐崎村の集團赤痢に引續き好間村上好間隅田川地區にも赤痢が發生、二日現在までに土工森田義昌（二三）同山口文夫（二二）ほか數名が赤痢と決定、平保健所では隅田川地區河川一たいにＤＤＴ撒布すると共に地區內の各便所內には消毒液を備え付け百十六名に對し檢便を實施百戶にわたって健康查察を行い食品行商の立入り販賣を禁止、集團發生の防疫に万全を期している

また疑似赤痢

平市久保町七稅務吏員齋藤照一（二三）君は一日疑似赤痢と決定

湯本に赤痢

湯本町三函常磐炭礦事務員比佐宣夫（二〇）さんは二日赤痢と判明湯本町內では最初の傳染病患者である

堀坂地內でまた電話線

大量盜まる

內郷町堀坂地內で一日夜郵政省電話線一區間三十米の間十八本（八十キロ）が切斷され頻々として電線が盜まれる內郷町では總動員で犯人搜査に躍起となっている

相撲の呼出し溺死

東京都墨田區東兩國二ノ七相撲の呼出し業山田新太郎（二三）は照國一行と小名濱に來町し、一日午後四時頃小名濱海岸で水泳中溺死

猫自殺未遂

人生を悲觀

湯本町水野谷龜ノ尻常磐炭礦砿寮仕上工新妻信吾（二五）は去る二十九日午後十一時ころ自室でネコ自殺を圖った寮生に發見され命はとりとめた原因は人生を悲觀したものらしく新妻は尚刃渡十七糎の短刀一振を護身用として所持して居り湯本町署で取調中

採掘工事に女子を使う

船生鑛山所長を送檢

平勞基署では三日赤井村西小川船生鑛山（所長船生長次郎氏）を女子勞働者を坑內作業に從事させたと云う疑いで送檢する

船生氏は去る六月二十八日以來から女子從業員村松ハツノ（四七）奥村トモイ（二八）長谷川ケサヨ（四〇）の三名を粘土採掘に從事させていたもので平勞基署がさきに臨檢を行った結果

その事實を現場確認したもの

なお平勞基署では管內の中小工業にも勞基法を無視して女子を坑內作業に從事させているところもあるので近く隨時に臨檢を行い斷固たる處置をとることになった

磐高同窓會總會通知

一、日時　八月十日午後一時より
一、會場　母校講堂

右記により本年度總會を開催致しますからお誘い合って多數御出席下さい

磐高同窓會
會長　野崎喜八郎

質屋營業違反

赤井村三島字上川原一一四農杉本七郎丸（六〇）は四月下旬、同村諏訪原鬼村留吉さんに衣類四點抵當に三百円を月一割の利子で貸付けた外昭和二十三年ころから二十數件に亘る金貸しを行っていたこと判り一日平地區署に質屋營業法違反で檢擧された

紺屋町民海水浴

平市紺屋町青年團では四日沼ノ內海岸に町民二百五十名の海水浴を行い、慰安大會も同海岸に開き親睦をはかる

新稅法說明會

內郷町役場では五日午前九時から町內の囑託員を召集し新稅法の普及徹底を圖るため說明會を開催することになった

呉服屋荒し

片割れ捕まる

二日午前一時頃泉村驛前鶴屋呉服店の表戶を開けて二人組の賊が侵入店頭から浴衣地等を盜んで逃走した犯人が平着午前三時五十五分の下り列車に乘車しているとの急報に平市署員が車內の臨檢を行ったが逮捕に至らなかった、尙共犯住所不定川原四郎（二三）は同夜植田地區署に捕まった

松崎宅に賊

被害一万余圓

平市新田前二十九家具塗裝業松崎誠（四三）方に二日午前零時頃より三時頃までの間に自轉車一台一万円相當、衣類五點（千二百円相當）配給米粉十一キロ（四百八十三円相當）時計三個（千八百円相當）等計十一點一万三千四百八十三円相當を窃取された

人騒がせ男

一日午後十一時半頃平市紺屋町佐藤自動車修理工場佐藤金正（三四）は材木町地內飲食店『ひようたん』こと鈴木洋子方で飲酒泥醉、亂暴沙汰に及び、駈けつけた平市署員に訓戒を受け歸宅したが、腹の虫が治まらず修理を依賴されていた平市署のハイヤーを引き出し非常サイレン警笛を吹鳴しつつ市內を一巡の後午前三時と五時の二回に亘って同町內の矢吹公安委員長宅に亂入トンダ人騒がせを演じた

天氣予報　二日

【今晚】東よりの風雲時々俄か雨
【明日】東乃至南東の風雲の多い天氣ですがムシ暑く所によりしゅう雨

ナイトショウ
3・4日 午後9時30分より
むし暑い夏の夜の一刻を忘れさせて呉れる納涼映畫
夜は千の眼を持つ
入場料40円
パラマウントが皆樣に贈る肌寒き神秘のスリラー映畫
エドワード・G・ロビンスン
ゲイル・ラッセル
ジョン・ランド
シュウラクカン

明治ヤの
純アイスクリーム
一箱　10円
（輸入原料製品）
アイスキャンデー
一本　5円
平市銀座電702（パッカス改め）

肉
323

超特急ニテ輸送スル芝運送トラック便
お盆前ノ御仕入品ノ輸送ハ
東京＝平　急行定期便
芝運送トラック便ニテ!!
東京都內二十一個所
貨物集配所一覽カード進呈中
東京ヘノ御仕入前ニ
是非平市大工町
平製氷部
芝運送平出張所ヘ
オ寄リ下サイ
◇市內小型車直配致シマス
平市大工町
電二二〇九
芝運送平出張所
所長　丹野利松

飲んで氣分の良い
サービスの店
一度御立寄りの程
御待ち申上げます
スタンド　紅（くれない）
世界館前

9

皆樣お馴染の
スタンド　ダンゴ　が
移轉
新裝
開店致しました
◇…是非氣輕にお出かけ下さい
（藤越裏通り）

郷土漫筆

高木誠一

磐城三十三觀音順禮も暑さのため道中も困難であるから秋風の立つ頃にして今度は水に因んだ郷土の傳說をかいて見たい

機織姫傳說

鮫川の上流にあたる川部村小川に御前淵と云うのがある昔山田村大谷の人が木こりに行つて誤つて山刀を淵中に落した、そこで水中に入つて探したところが水底に立派な御殿があつて美しい一人の乙女が機を織つて居た、ここに歸るのを忘れて三日ばかり居つたがやがて思い立つて山刀を返して貰い村に歸つて見ればもう早や三年もたつて居た其日は七夕に當つて居た、この事があつて以來毎年七夕にはをを以て機を織りこの淵に入れる祭りを行うこととなつたと云う

夏井川の上流川前村と上小川村との間に籠場の瀧がある昔江田の伴四郎という百萬長者があつて瀧に大籠をかけて魚を探つて居た或日誤つて腰の山刀を水中に落したので探し出した者に褒美を與えるからとて下男の者等に探させたこの時若者が瀧壺に入つて見たところが立派な部屋があつて乙女が機を織つていた、かの無くした山刀も傍にあつた山刀を貰い受けて歸つて見ればほんの一寸のつもりだつたのが一週間程もたつている、人々不思議がつて問うのであれほど口どめせられたのに遂口をすべらした、そのとたんに忽ち命が絶つてしまつたと云う

双葉郡大堀村小丸の牛ぶちにもこの水底に館がある、きれいな女、機を織るを見たる人昔より幾人もありと云う

この樣な傳說は土地によつて少しづつは話し方が變つていますが探して見るとそちこちの大きな川や沼に同じようないい傳えがいくつもあります

故中山太郎氏は機織池傳說の結論は極めて手輕なものであつて我國の先住民族であるアイヌは池のことをハタと呼んでいたので、その土語から思いついたものと考えている水底に機音が聞えるとは要するに一種の錯覺である、

又柳田國男先生の說かるるには昔は村々の御祭りでも毎年新たに神樣の衣服を造つて御供え申していたようであります、その爲には最もけがれを忌んでこういうや、人里を離れた淸き泉や沼の畔に機殿というものを建てて、若い娘だちにその大切な布を織らせていたかと思います、その風がだんだんにやんで後には神の御附きの女神がその役目をなさる樣に考えて來ましたそのわけも、もうわからなくなつてしまいには、龍宮の乙姬樣などという事になりましたけれども、ここで聽える機の音は龍宮のものでなく最初から土地の神樣の御用でありました、神樣の御身につく布である故にその機の音のするところへはただの人の布を織る者は憚つて近よらぬ樣にしていたのであります舊五月、一と月の間はただの女は機を織つてはならぬという戒めがあり、これを犯す者は嚴しく罰せられる村があつた、

要するに吾々の遠い先祖の女性は神々のために人里を遠く離れた美しい水のほとりで機を織つて居たことの名殘りを見せて居るものであろう

この樣な傳說は故高木敏雄先生の日本傳說分類によれば水界神話的傳說の機織姬傳說に屬する

古河炭鑛相手に損害請求

家は傾き井戸水は涸ると

古河好間炭鑛を相手取り好間村北好間酒造業熊谷彥信（四七）氏は同炭鑛の鑛害により家屋が傾斜したり、飲料井戸水の涸渇の被害が甚大で今後の商賣にも事かくから復舊費八十五万円を賠償して欲しいと平市堀江工業株式會社の設計を添付し大峰辯護士を訴訟代理人として去る六月中旬に地裁平支部に調停裁判を申請した、會社は鑛害ではないと主張し對立しているが、申請者は東北大學から鑛山關係の權威者を招聘し學究的結論を得たいと望んでいる、本事件で木村判事を調停官に東部石炭協會顧問淸宮一郎、常石社長渡邊晏彥、好間村長鈴木榮一の四氏からなる調停委員會が出來ているが如何なる結果を生むか注目されている

この事件は昭和三年ころ酒造上に必要な井戸三カ所が涸渇したが、これは炭鑛の採掘によるものだという點を認め古河好間炭鑛でも飲料水は責任をもつて平から運搬していた、その後次第に家屋、倉庫が傾斜、屋根瓦がくずれたりしたが、その都度應急措置を講じてくれ戰時中は整理で造酒を中止していたが最近その被害が甚だしくなり昨年暮から大峰辯護士を代理人として會社側とかけ合つていたもので從來會社側のとつた態度は鑛害を認めていたものであると主張している、會社側では最近同炭鑛の技術者により土質の調査を行つたが、石炭採掘は地表から七百尺も地下になつており磐城三岩の一に數えられる程の固い岩盤であり、熊谷氏の家屋は舊家で相當年數も經つており土台は盛土になつており土台も粗末で排水も不完全なところから自然に傾斜したもので鑛害では決してないと主張している、一時會社側では八十五万円の要求が出た際、八万円で手を打とうとしたが熊谷氏に拒まれたこともある

千葉大門組また優勝

東日本庭球 東京代表を破る

群馬縣高崎市營城內コートに開催の東日本軟式庭球選手權大會に本縣代表一般女子の部代表として出場した、ホープ千葉、大門組は初日以來連戰連勝三十一日の準決勝には栃木縣代表長澤、川島組を4對0で輕く一蹴、決勝に臨んで昨年度優勝の榮譽に輝やく東京代表磯部、神和住組と對戰祕術好技を盡しての熱戰の末4對2のスコアでこれを破り、覇權を獲得した

『決勝』

千葉 大門		神和住 磯部
4	1-4 4-1 4-0 4-2 5-7 4-1	2

東北水上出場選手決る

磐會の裡に幕を閉じた第三回縣水上大會は各選手の實力伯仲していたので縣水連役員の詮衡會も仲々はかどらず三十日の夜中に決定、來る十二、十三の兩日岩手縣の花巻プールで開かれる東北大會への派遣選手を左の通り推選した

【男子高校】▽自由型百米羽田（福高）水田（五）（磐高）小針（白高）▽自由型二百米羽田（福高）部築（磐高）和久井（喜高）▽自由型四百米田崎（白高）拔川（白河）加藤（喜高）▽自由型八百米田崎（白河）拔川（白高）加藤（喜高）▽背泳百米木田（雄）（磐高）添田（白高）内藤▽背泳二百米木田（雄）（磐高）添田（白高）荒井（白高）△平泳百米石崎（白高）大内（安達）▽平泳二百米石崎（白高）大内（安達）△バタフライ百米二瓶（喜高）諏江（白高）△メドレー三百米木田（磐高）石崎（白高）拔川（白高）▽リレー八百米木田（磐高）羽田（福高）拔川（白高）田崎（白高）

【女子一般】何れも四倉洋泳會▽自由型百米篠原高木▽平泳五十米佐藤▽背泳百米關根▽メドレー三百米關根、佐藤、篠原【男子一般】常磐の選手中より選ぶ

砂糖販賣業立候補

平市内の第四回砂糖販賣業者の登錄更新は六日より十日まで五日間にわたつて實施される今度立候補した登錄店舗は全部で三十八店舗である、なお登錄方法は新購入通帳の申込票（選定票）により立候補した砂糖小賣登錄申請に登錄すれば良い立候補店左の通り

△下平八木內草野屋商店（渡邊賢司）△下平六角農業協同組合（江尻忠平）△中平橫枕岩谷淸次△北目町猪狩喜一△同渡邊昭子△胡摩澤長瀬亮明△久保町山田屋（青木榮吉）△道匠小路佐川久直△杉平小松屋（須賀井長治）△才槌小路小川屋商店（廣木實）△同矢野カネヨ△古鍛治町白土正藏△長橋町蛭田利光△材木町大富田屋（鈴木義德）△鍛治町玉川屋食品店（國府田良平）△南町山百商店（根本寅義）△同平生活協同組合（草野利男）△中町丸井屋（菅野芳夫）△一丁目河內屋（白土好美）△二丁目根本善吉△同馬目チヨウ△三丁目太丸屋（大津賀善吉）△四丁目百澤易正△同阿部唯次郎△五丁目大內近雄△同武子嘉助△禰宜町菅野好之△同常磐炭鑛平配給所小野寺治雄△立町中野健次郎△鎌田平澤政衞△下河原伊藤ナミ子△月見町よろずや（山崎彥太郎）△新川町寺田定太郎伊勢屋（阿部榮造）松崎長三郎△正月町菊屋商店（菊田菊雄）△仲間町佐藤政次郎△堀町福島屋（宍戸武雄）

植田町唯一の財產

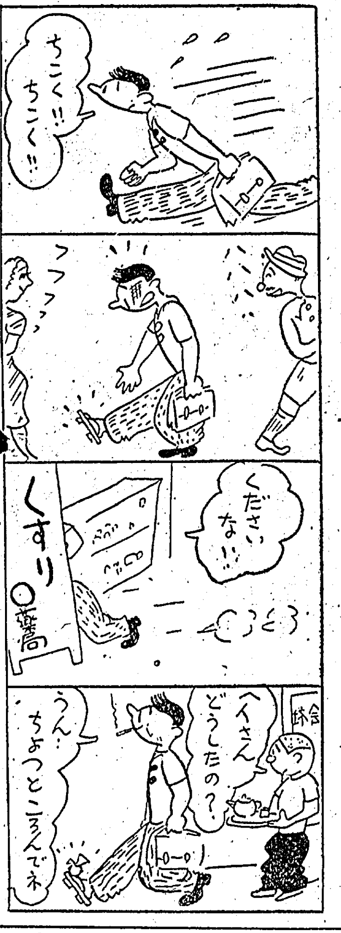
（上）町有林境界畫定へ

測量班に隨行して（KON生）

植田町唯一の財產は十町步の町公有林である場所は植田町から六號國道筋を沿うて約三キロの地點にある、境界が不鮮明で後日問題を醸してはならぬと云う見地からこれが境界畫定のため三十一日村松助役を初め豐田、森合、稻崎、北郷、蛭田、樋田の六町議と役場測量技師それに記者が加わり一同徒歩で公有林地を視察した、曇り勝ちの空模樣はカラリとはれ陽光燦と輝き一同汗ダクで新設の六號國道の小砂利を踏みつつ進んだ、建設省が自慢するだけに豫想外立派な道路には一同感嘆し完成の曉は一般交通運輸上に一大貢獻を齎らす事は言わずもがなであろう、道は約五百米は出來上つていた、其先きは難工事地點らしく百名近くの筋骨逞しい青年勞務者が各々崖崩しやトロ押し等の重勞に汗水流して敢斗していた、大半は失業者だとの事だ、敬意を表して進む、豐田町議の話によると、今年小濱は海苔の收穫は全然零で漁師連の嘆きは想像外、此の埋め合せにこの道路の開さくに就勞しているとのこと、該工事は八、九十名宛の勞務者は三カ所に分割され日々二百七、八十名が就勞している、新道兩側の疎材には五月蠅い程蟬が鳴き秋の稔を報じそれに奇鳥のさえずりなど自然のコーラスを讃えつつ一行は目的の町有地へ着いた、此處には既に渡邊町長と蛭田町議の兩氏が待ち構えていた

ヘイさん

連載漫画　なかじま・やすを


ちこく!!
ちこく!!
フフフ
ハハハ
くすり
くださいな!!
〇薬局
ヘイさんどうしたの?
うん。ちょつところんでネ

聚樂館

映畫

夜は千の眼を持つ

三、四日　ナイトショウ

科學者エリオットは許婚ジーンが自殺しようとしたのを助け透視術師トライトンに會い、ジーンの死にまつわる不思議な彼の話をきく—昔彼とジーンの父母は一座の旅廻りだつた、ジーンの父は石油事業で成功するが飛行事故で死ぬ豫感がするので中止させようとするが間に會わず父は死ぬ、エリオットは彼が詐欺師とにらみ警察に通告し彼を投獄させるがジーンは豫言の時間に殺されそうになる、犯人は彼女の父の仲間だつたがトライトンは間違つて殺される、パラマウント四八年作品異色スリラー篇

JOCP ラジオ JOHQ

【3日】郡山放送　ローカル

前一〇・四〇　夏休みラジオクラブ『合唱　綠蔭ほか』本宮中生徒

後六・三〇　平若松通信第四十二報　金子公

平市五丁目
久 釜屋商店
電九・九九・九九

涼しい夏向の
安くて經濟的な
開襟シャツと
半ズボン
福屋
平市中央通り電1093

本場自慢
牛豚肉
【夜も營業】
第一綠屋
第二綠屋
電794電539

洋傘 雨傘 三輪車 乳母車
下駄・靴は
ゼヒ…吉田屋履物店へ
キツト 御期待に副います
平市銀座通り 電416

スイートミシン
SWEET
何如なる御相談にも應じます
ドウゾ御來店下さい
平市新川町23　渡邊ミシン商會

カバン
各種修理加工
今村製鞄所
平市南町七八

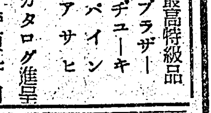
（1口千円 6カ月）特賞10万圓
第五回 東邦の宝定期
★割増金を受取つてから預金期日に拘らず縣稅納付に充てることが出來ます
無稅空くじなし　東邦銀行平支店

眼科
松崎醫院
內郷第二イワキ隣
電話（綴）二二番

木炭 薪炭 煉炭 棒炭
多少ニ拘ラズ御用命下サイ
平市紺屋町 市原商店 電二四四
倉庫 平市才槌小路 電四九九

時計はセイコー
レコードはコロンビア
只今 レコード祭
（流行歌集差上げます）
Columbia
金光堂
平五（電195）

高級リンネル
（防水加工）
★白靴
★コンビネーション
各種取揃えてあります
註文も迅速に御調製致します
平市三丁目
菊一靴店
電446

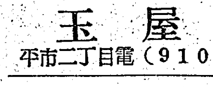


石川ミシン商會
最高特級品
ブラザー
チユーキ
パイン
アサヒ
カタログ進呈
平市一丁目
電二三二

精工舍の時計
平一 トキワヤ時計店

風味
やぶそば
冷むぎ
江戸前
立喰
すし
出前迅速
新扇屋
平市中央通り 電886

眼鏡專門



各眼科醫指定
玉屋
平市二丁目電（910）

酒銘 白馬の
松本德一吟釀

時計の御用は
正確で安いと
定評のある
誠光堂へ
修理は迅速丁寧
平市銀座街電988